(9) 日本国特許庁 (JP)

①実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭57—172970

F 16 K 15/16 F 04 B 39/08 識別記号

庁内整理番号 6943-3H 6459-3H

昭和57年(1982)10月30日 43公開

審査請求 未請求

(全 2 頁)

郊圧縮機の吐出ポート部の機構

②実

顧 昭56--59872

②出

願 昭56(1981)4月27日

の考案 者 稲場恒一

> 栃木県下都賀郡大平町大字富田 800株式会社日立製作所栃木工 場内

危者 案 者 荻野賢二

栃木県下都賀郡大平町大字富田

砂実用新案登録請求の範囲

- 1 圧縮機のシリンダヘッドの吐出ポート内で自 由運動するフロートを入れたことを特徴とする 圧縮機の吐出ポート部の機構。
- 2 圧縮機のシリンダヘッドの吐出ポート内で自 由運動するフロートを軽量、耐熱、耐油、耐冷 媒性のある樹脂材で製作したことを特徴とする 実用新案登録請求の範囲第1項記載の圧縮機の 吐出ポート部の機構。
- 3 圧縮機のシリンダヘッドの吐出ポート内で自 由運動するフロートを球形の形状で作製したこ とを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項

800株式会社日立製作所栃木工 場内

田川茂太郎

栃木県下都賀郡大平町大字富田 800株式会社日立製作所栃木工

場内

人 株式会社日立製作所 の出 願

東京都千代田区丸の内1丁目5

番1号

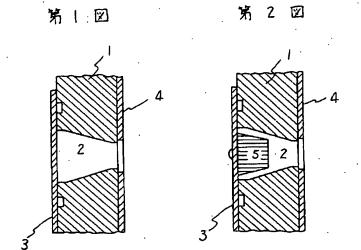
弁理士 薄田利幸 の代 理

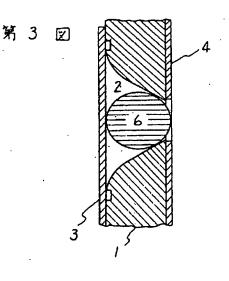
記載の圧縮機の吐出ポート部の機構。

図面の簡単な説明

第1図は従来のシリンダヘッド1の吐出ポート 2付近の断面図、第2図は従来の吐出弁バネ3に 固定された突起物5をもつ吐出ポート2付近の断 面図、第3図は本考案の吸込み工程に於ける自由 運動するフロート6入りの吐出ポート2付近の断 面図、第4図は、第3図に対して吐出工程での断 面図である。

1……シリンダヘッド、2……吐出ポート、3 ·······吐出弁バネ、 4 ······吸込弁バネ、 5 ······突起 物、6……自由運動するフロート。





第 4 回

